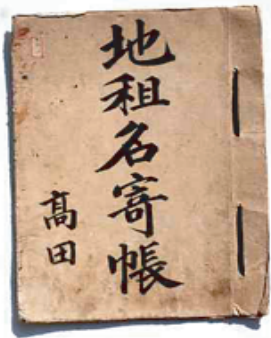


会津高田町史 第4巻  
資料編Ⅲ 近代・現代

A 5版 862頁  
1998年刊行 ¥6,000



地租名寄帳 高田

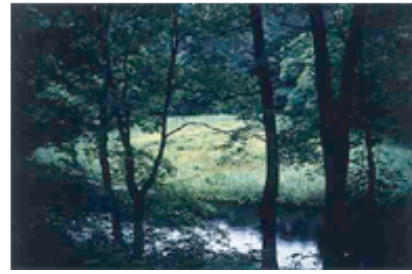
町史編さん事業を通して収集した明治初年より昭和30年までの近代文書4248点のうちから748点を厳選し掲載。これまで未公開であった個人所蔵の文書や、明治期の「県庁文書」を多数掲載しています。

内容は、大きく「明治初期」・「明治後期」・

「大正期」・「昭和期」にわけたあと、その中で「政治」・「産業」・「交通・土木・社会」など各項目毎にまとめています。文書から見える近代の旧会津高田町の歴史を語る上で欠かせない必読書。巻末には掲載内容についての簡単な解説があります。さらに『会津高田町近世・近代文書所在目録1～3』をあわせて利用することで、より詳細に近代以降における高田地域の歴史が把握できます。

会津高田町史 第5巻  
各論編Ⅰ 自然・旧町村誌

A 5版 824頁  
2000年刊行 ¥6,000



蓋沼の浮島

「自然」編には会津盆地とその周辺の動植物が網羅されているのはもちろん、旧会津高田町の西山上に位置する「水上を動く島」としては日本

最大級」とされる県指定天然記念物「蓋沼の浮島」に関する記述が詳細で、研究者や学生の方々にも役立つ資料です。また、近年自然を求め散策を楽しむ方々にも、その楽しさをさらに深める情報が数多く掲載されています。

「旧町村誌」は、それぞれの町や集落の成り立ちを始め地名・出来事・寺社など、ふるさとの歴史が凝縮されており、ふるさとを離れて暮らす方への贈り物としても最適です。

会津高田町史 第6巻  
各論編Ⅱ 民俗

A 5版 707頁  
2002年刊行 ¥6,000



太々神楽

平成10年度から12年度に行われた民俗合同調査や、それまでに蓄積されてきた調査成果を元に編集したものです。民俗

調査は聞き取りを主体として地域社会における生活の実相と特質を把握することに重点をおいて実施されました。民俗は日々の暮らしのことでもありますから、衣・食・住についてはもちろんのこと、各種の産業、くらしの成り立ち、冠婚葬祭、年中行事、寺社とのかかわりなどについて記載されています。また有名な御田植祭りをはじめとする民俗芸能（神楽・田楽・風流・民謡）や昔話・伝説・遊び・方言など幅広いジャンルについて細かくまとめられています。すでに今では行われなくなったり、廃れてしまったりした事象についても知るこののできる一冊です。

会津高田町史 第7巻  
各論編Ⅲ 文化

A 5版 772頁  
1999年刊行 ¥6,000



木造吉祥天立像

類例が少ない平安～鎌倉時代の仏像が掲載されています。特に平安時代の法用寺十一面観音菩薩立像や金剛力士像、持国天・多聞天立像、鎌倉時代の法幢寺の阿弥陀如来及び両脇侍立像、長光寺の阿弥陀如来及び両脇侍立像のほか、平成19年度に新たに国指定重要文化

財に登録された平安時代の『木造吉祥天立像』などは注目。このほか、室町時代の仏像も数多く掲載され、特に法用寺の三十三身像は室町時代〔明德五年（1394年）〕の銘記があり、三十三身像としては県内唯一の古い例として知られています。さらに、伊佐須美神社をはじめとする主要な神社のほか、国宝「一字蓮台法華経」を所蔵する龍興寺など主要な寺院についても解説されています。